

装画・装丁家

倉橋二郎さん

東京在住ながら、自身のパソコンに高知の天気や気温、行事が表示されるようにセットしているという倉橋さん。年を重ねることに故郷香美市への思いが強くなっているそうです。

故郷土佐山田町での思い出をお聞きしました

夏は物部川でよく遊びました。季節折々の自然の風情を感じたものです。今は、



絵画・野ぶどう

川遊びをする子どもも少なくなりましたが、自然の中で情感を育てることが大事だと思います。鮎魚の解禁日には早朝から父と物部川へ。6時に合図の空砲が鳴り、一斉に竿が川面に並ぶ光景が忘れられません。当時、子どもの遊びといえば、ゴリ・手長エビ・ウナギなどの魚を捕ることでした。夏休みが来ると、今日は北の土生川へ、明日は物部川へ、といった感じでした。

装丁(本のカバーのデザイン)について

装丁の世界で44年。最初の20年間は装丁家として立つための戦いの日々でした。有名小説家である姉の力を借りず活躍したいという思いから、姉の本の装丁・装画は意図的に行いませんでした。装丁だけで生計を立てて

いる人はまれです。

小説と異なり、装丁には印税がありませんので、いくら本が売れても、関係ありません。

装丁は小説のゲラを読んだから構想を練ります。小説の内容とかけ離れていてはいけません。この世界では個性がないと生き残れません。私の作品の特徴は、背景に凸凹があるということです。それで、この年齢でもやっていけているんだと思います。

絵を始めたきっかけは

私が絵を描き始めたきっかけは、兄に誘われたのが始まりで、兄弟でよくスケッチに行きました。兄は私



装画・卯の花

くらはし・さぶろう

装画・装丁家。香美市土佐山田町東本町出身。高知高校から大阪芸術短大、阿佐ヶ谷美術専門学校を卒業。新聞社勤務を経て装画・装丁家に。姉は小説家倉橋由美子。著名作家の小説を含め3,600冊以上を手掛けている。東京都在住。72歳。



た父に感謝しています。

より上手で、何とか真似ようと頑張りましたができませんでした。

倉橋さんには、目標としている現役の高齢者の方がおり、その一人は香美市香北町出身のやなせたかしさん。あと10年は現役で描き続けたいそうです。

香美市立美術館

アートの窓



高知県生まれの洋画家・桑尾寿秋さんの展覧会を開催します。

桑尾さんは、1917年に高知市に生まれ、幼少の頃からスケッチブックを抱えて一日中絵を描いていたそうです。

1939年に日本美術学校を卒業した後、画材を求めて世界各地を訪ねて回りながら、さまざまな色彩表現を追求しました。60年より創元会に出品を続け、79年には同会運営委員、審査

員となり、81年にはフランス美術賞国際展に入選。以降、推薦・招待出品を重ねます。

同年には、高知県展洋画部門無鑑査、85年には日本国際美術家協会会員に推挙されるなど、2001年に84歳で亡くなられるまで、精力的に芸術活動に励んでいました。

写真の作品『ランプのある静物』は、落ち着いた深い緑に、ほんのりと明るいランプの色彩が映え、静け

さの中にも、人間味あふれる温かさを感じることができます。このような静物画の他にも、外国や日本の風景画、不思議な人の形をしたものや、記号が並んでいるような抽象画など、1人の画家が描いたとは思えないほどのさまざまな表現でその世界を広げ続けていました。

桑尾さんは、「私は常に今生まれた。ここから第一歩がはじまると思っています。だから結果は考えず、とにかく自分の心を表現するよう努めている」と話しており、その言葉どおり、その時その時の自分の心を素直に表現しています。

さまざまな壁にぶつかりながら、常に変化

を続けてきた桑尾さんの絵の鮮やかな色彩からは、静かな情熱が伝わってきます。ぜひ、多くの方々にご覧頂きたい展覧会です。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

▲ランプのある静物

(学芸員・石見陽奈)



吉井勇記念館だより

吉井勇顕彰短歌大会作品募集

来年3月8日(土)に開催される第11回吉井勇顕彰短歌大会の作品を募集します。本大会は、勇の業績顕彰を目的として彼の再起の地である香北町猪野々で、開催しています。

■作品募集要項

【作品】1人2首まで。自作・未発表のもので主題は自由。応募用紙または原稿用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・大会当日の欠欠・送迎バス利用の有無を明記してください。学生の場合は学校名、学年も記入してください。

【出詠料】2首で千円。出詠料が1首でも千円となります。学生の部(高校生以下)は無料。定額小為替または現金書留にて、投稿時に納めてください。

【締切日】

12月20日(金)必着

【選者】▽玉井清弘(NHK学園短歌講座「友の会」

選者・「音」選者)▽井上佳香(高知新聞歌壇選者) 【賞】一般の部・学生の部に各賞を選出します。吉井勇大賞(1首)・吉井勇賞(1首)・特別賞(2首)・佳作(若干首) 【入賞発表】入賞者へ2月下旬に連絡します。 【送迎バス】※要予約 香美市役所本庁舎より、市役所香北支所前経由。行き 12時発 帰り 15時40分発 【注意事項】 ・受付後の作品の取替え、訂正はご遠慮ください。 ・作品の著作権等一切の権利を主催者が有します。 【問い合わせ・申込先】 市立吉井勇記念館 吉井勇顕彰短歌大会 歌会係 〒781-4247 ☎781-4247 香美市香北町猪野々514 ☎58-2220 FAX 57-5995